

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度	河川浚渫工事（普通河川本谷川） 三原市 沼田三丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=433.1m 浚渫土量 V=730m ³ 仮設工 一式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市沼田三丁目 河川浚渫工事（普通河川本谷川）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和5年8月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-24 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第3節 コリنز（CORINS）への登録

本工事におけるコリنز（CORINS）への登録については、土木工事共通仕様書1-1-1-5及び1-1-2-4 コリنز（CORINS）への登録 によらず次のとおりとする。

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリنز）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績データを作成し、発注機関確認担当者情報を入力した「事前確認のお願い」をコリنزから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜、コリنزに登録をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金額500万円以上（単価契約の場合は契約総額）の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

また、コリنزが発行する「登録内容確認書」は、コリنز登録時に監督職員にメール送信される。

なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。

また、本工事の完成後において訂正又は削除する場合においても同様に、コリنزから監督職員にメール送信し、速やかに監督職員の確認を受けた上で、コリنزに登録申請しなければならない。

受注者は、登録作業及び内容確認については次のとおり対応する。

[1]受注者は、工事实績データの作成及び発注機関確認担当者情報の入力後、コリنز上で「メール送信で提出」を選択する。

[2]受注者は、[1]によりメール送信された「事前確認のお願い」について監督職員の確認を受ける。

[3]受注者は、コリنزから送信される、確認年月日を明記した「登録のための確認のお願い（監督職員が登録内容を承認した旨のメール）」を確認し速やかに、コリنزへ登録する。

[4]「登録内容確認書」については、コリنزから監督職員にメール送信されるため、受注者による提示は必要ないものとする。

なお、受注者は、「低入札価格調査制度事務取扱要綱」による「低価格入札者」として契約した場合、工事实績情報システム（コリنز）に工事实績情報を登録する際は、「低価格入札である」にチェックをした上で、「事前確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けること。なお、低入札技術者については主任技術者として登録し、公告等で求める資格を満たすことを確認できる資料を提示すること。

https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/file/corins_koji_gyomu.pdf

第4節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第5節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第6節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工場の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工場の完成後5年間保存するものとする。

第2章 施工条件

第1節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第2節 公害対策

- 1 粉じん対策
内容 清掃作業において粉じんが飛散する場合は、粉じん防止の散水等を随時行うこと。
期間 土砂積込作業

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中は、交通誘導員を2（人／日）設置すること。

第4節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社大地産業リサイクルプラント

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第3章 工事保険等

1 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

2 法定外の労災保険 の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

数量総括表

—河川浚渫工事（普通河川本谷川）—

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	【土砂 上記以外(小規模),押土無】 【障害無, 標準】	m3	600	レベル4
積込(ルーズ)	【土砂】	m3	130	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
仮設工		式	1	レベル2
掘削補助機械搬入搬出		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				

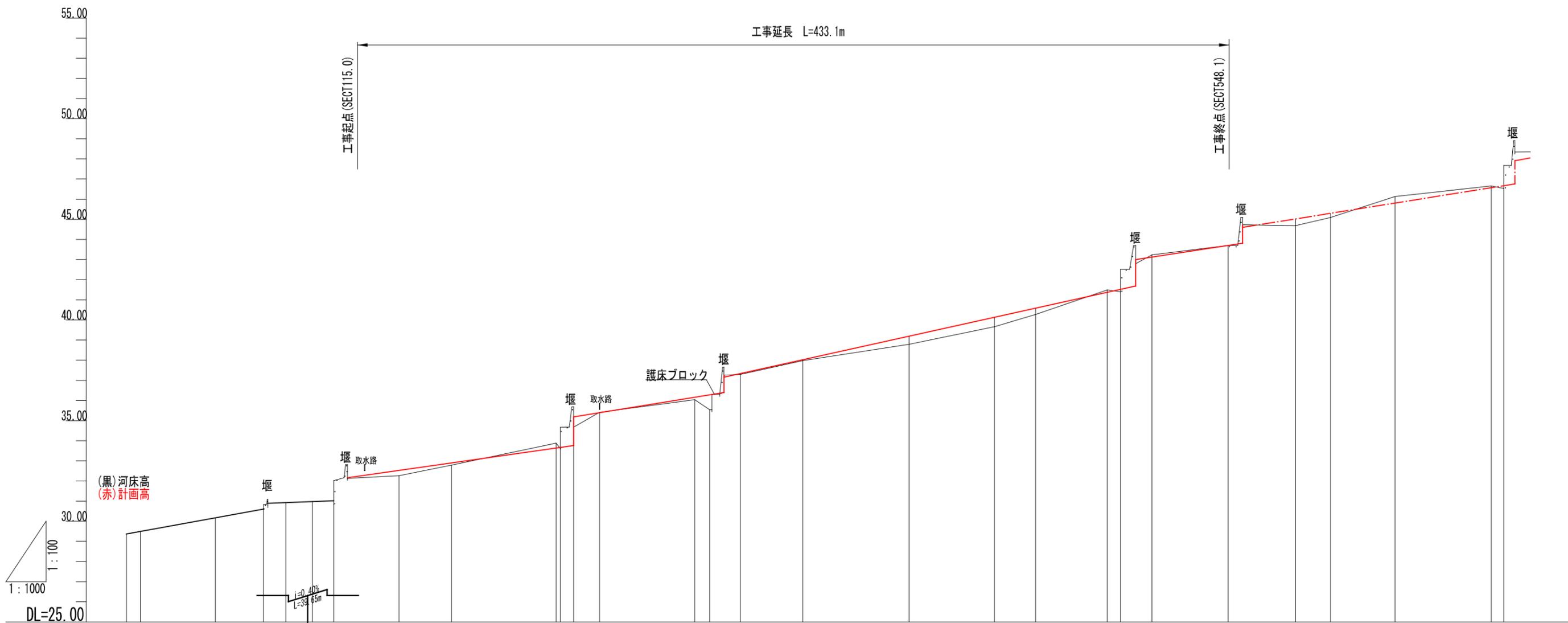
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	2/5	縮尺	V=1/100 H=1/1,000
工事名	河川浚渫工事(普通河川本谷川)		
種別	縦断面	番号	1/1
路線名	普通河川本谷川		
工事箇所	三原市沼田三丁目		
三原市			

縮尺率	A1: 100%
	A3: 50%

(SECT 0.0~SECT 685.3)

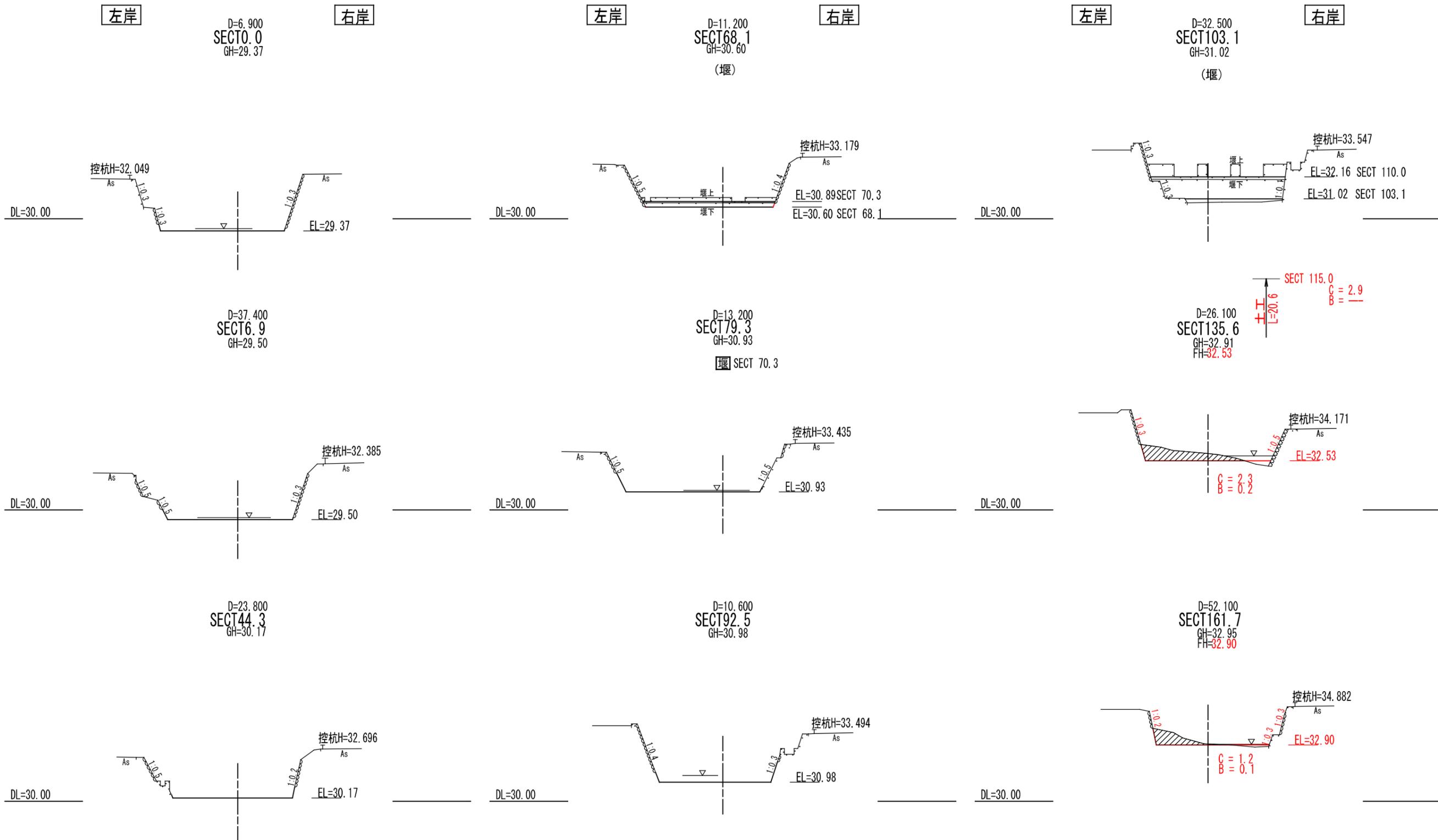


勾配	29.37		$i=1.81\%$ $L=70.33m$		30.64		30.89		$i=0.40\%$ $L=39.65m$		31.05		32.16		$i=1.42\%$ $L=112.50m$		33.64		33.67		35.18		$i=1.631\%$ $L=74.80m$		36.40		37.16		37.34		38.03		39.20		40.13		40.59		41.37		41.52		43.00		$i=1.52\%$ $L=53.20m$		43.81		44.60		45.02		45.30		45.81		46.57		46.67		47.91	
計画高	29.37	29.50	30.17	30.60	30.93	30.98	31.02	32.16	32.53	32.90	33.64	33.67	35.18	35.39	36.16	36.28	37.16	37.34	38.03	39.20	40.13	40.59	41.37	41.52	43.00	43.12	43.70	44.60	45.02	45.30	45.81	46.57	46.67	47.91																												
河床高	29.37	29.44	29.94	30.60	30.79	31.26	30.82	32.26	32.79	33.88	33.68	35.41	36.04	35.54	37.29	37.98	38.79	39.66	40.27	41.49	41.40	43.24	43.70	44.68	45.09	46.13	46.66	46.53	47.91																																	
追加距離	0.000	6.900	44.300	68.100	79.300	92.500	103.100	135.600	161.700	213.800	213.800	222.500	235.400	282.700	290.200	305.400	336.500	389.400	431.800	452.300	488.000	494.600	510.200	548.100	581.600	599.100	631.200	679.000	685.300																																	
区間距離	0.000	6.900	37.400	23.800	11.200	13.200	10.600	32.500	26.100	52.100	6.600	12.900	47.300	7.500	15.200	31.100	52.900	42.400	20.500	35.700	6.600	15.600	37.900	33.500	17.500	32.100	47.800	6.300																																		
測点	SECT0.0	SECT6.9	SECT44.3	SECT68.1	SECT79.3	SECT92.5	SECT103.1	SECT135.6	SECT161.7	SECT213.8	SECT222.5	SECT235.4	SECT282.7	SECT290.2	SECT305.4	SECT336.5	SECT389.4	SECT431.8	SECT452.3	SECT488.0	SECT494.6	SECT510.2	SECT548.1	SECT581.6	SECT599.1	SECT631.2	SECT679.0	SECT685.3																																		

図面番号	3/5	縮尺	1/100
工事名	河川浚渫工事(普通河川本谷川)		
種別	横断面	番号	1/3
路線名	普通河川本谷川		
工事箇所	三原市沼田三丁目		
三原市			

縮尺率	A1: 100%
	A3: 50%

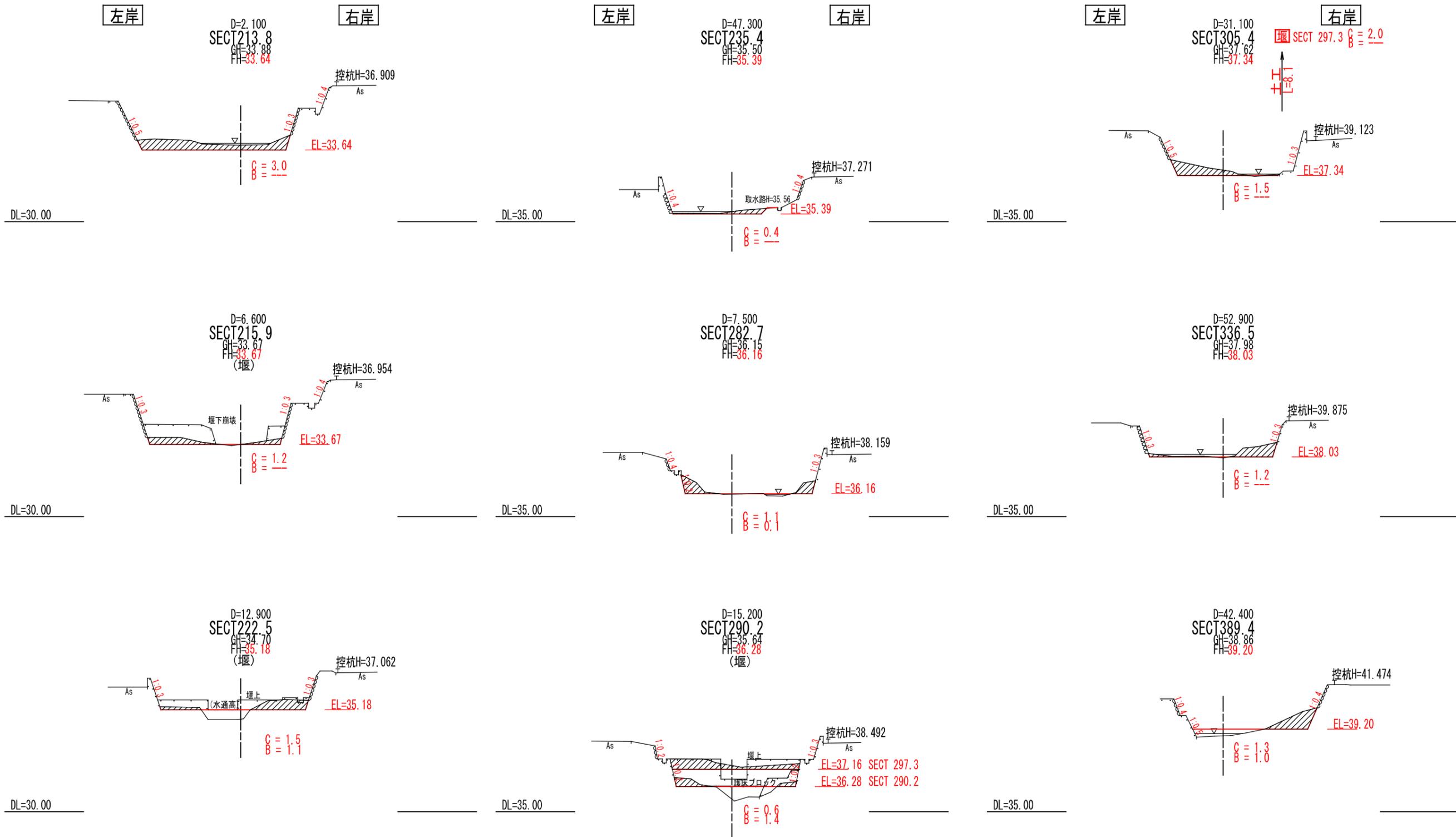
(SECT 0.0~SECT 161.7)



図面番号	4/5	縮尺	1/100
工事名	河川浚渫工事 (普通河川本谷川)		
種別	横断面	番号	2/3
路線名	普通河川本谷川		
工事箇所	三原市沼田三丁目		
三原市			

縮尺率 A1: 100%
A3: 50%

(SECT 213.8~SECT 389.4)



参 考 资 料

—河川浚渫工事（普通河川本谷川）—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-05.11.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックハウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 01 河川工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
河川土工	1	式			Y1A0101 レベル2
掘削工	1	式			Y1A010101 レベル3
掘削 【土砂 上記以外(小規模),押土無】 【障害無, 標準】	1	式			Y1A01010101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	600	m3			SPK23040001 00
積込(ルーズ) 【土砂】	600	m3			単第0 -0001 表
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	130	m3			Y1A01010108 レベル4
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	130	m3			SPK23040007 00
残土処理工	130	m3			単第0 -0002 表
残土処理工	1	式			Y1A010108 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 【土砂】	600	m3			Y1A01010108レベル4
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	600	m3			SPK23040007 00 単第0 -0002 表
土砂等運搬 【土砂】	600	m3			Y1A01010802レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	600	m3			SPK23040002 00 単第0 -0003 表
残土等処分	600	m3			Y1A01010803レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 土砂	600	m3			F0000000001 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
掘削補助機械搬入搬出	1	式			Y1A011502 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削補助機械搬入搬出					Y1A01150205レベル4
	4	回			
掘削補助機械搬入搬出					SPK23040016 00
	4	回			単第0 -0004 表
交通管理工					Y1A011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1A01152101レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

施工単価表

掘削

SPK23040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 28.44% 労務構成比:

59.55%

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,147.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK23040007

単第0 -0002 表

土砂

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 28.44%

労務構成比: 59.55%

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,011.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0003 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比:

61.92% 材料構成比: 12.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,045.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

数量計算書

土工集計

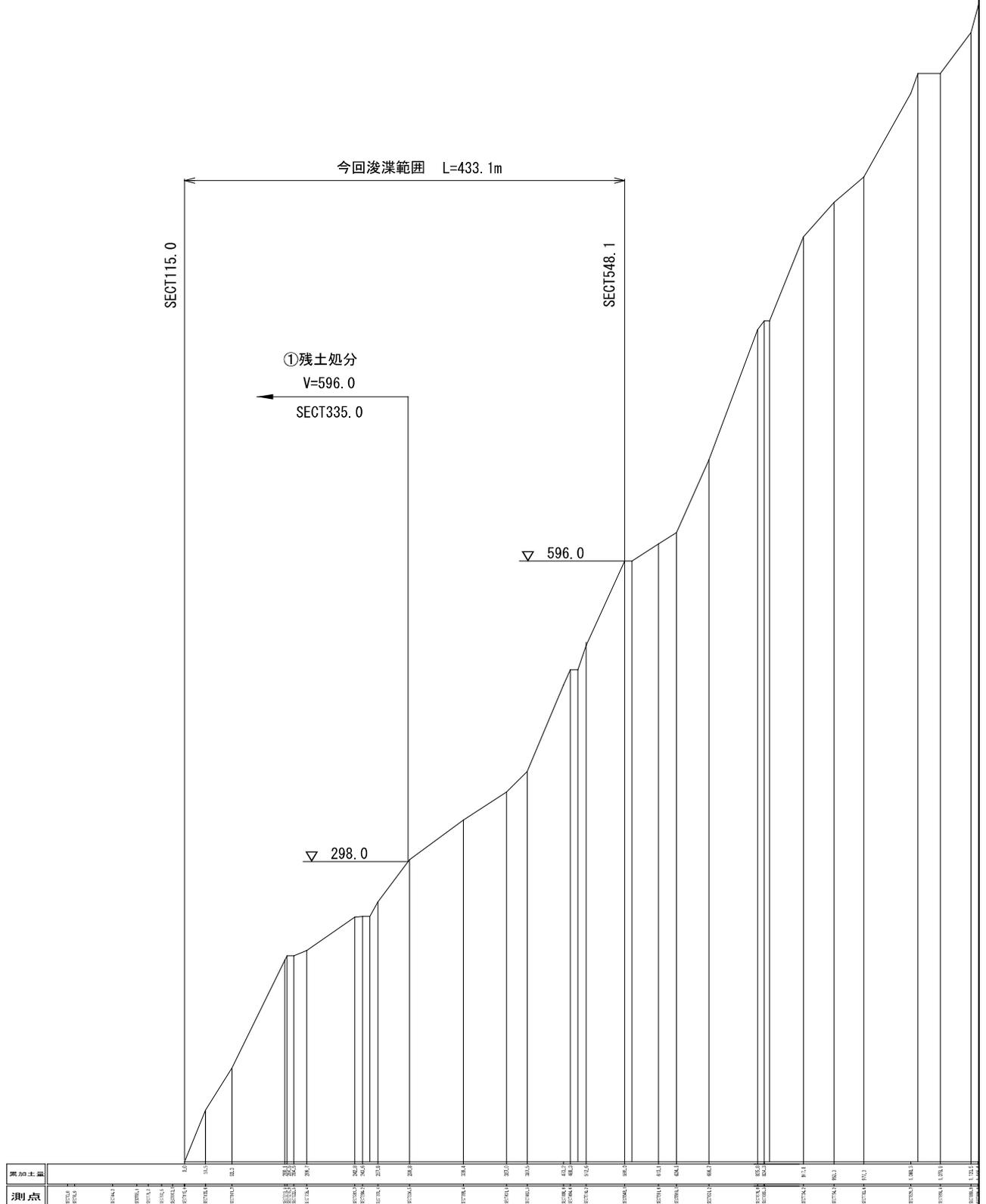
SECT115.0~SECT548.1

		番号	土量(V)	搬土距離(D)	V*D	平均搬土距離	備考
盛土	横方向		127.5				
	縦方向	①					
		②					
		③					
		計					
小計			127.5				
残土処分	縦方向	①	596.0	335	199,660.0		
		②					
		③					
		④					
		計	596.0		199,660.0	335	SECT (重心)
浚渫集計			723.5		土量計算書算出値との照合OK		

マスカープ

V=1/1000

H=1/1000



計 第 表 土 工 計 算 書

測 点	距 離	掘 削			盛 土			備 考
		C	平 均	立 積	B	平 均	立 積	
SECT 0.0	}							
SECT 6.9								
SECT 44.3								
SECT 68.1								
SECT 70.3	}	R4施工済み区間						堰
SECT 79.3								
SECT 92.5								
SECT 103.1								
SECT 115.0	0.0	2.9			0.0			
SECT 135.6	20.6	2.3	2.60	53.6	0.2	0.10	2.1	
SECT 161.7	26.1	1.2	1.75	45.7	0.1	0.15	3.9	
SECT 213.8	52.1	3.0	2.10	109.4		0.05	2.6	
SECT 215.9	2.1	1.2	2.10	4.4		0.00	0.0	
計	100.9		8.6	213.1		0.3	8.6	堰
SECT 222.5	0.0	1.5			1.1			
SECT 235.4	12.9	0.4	0.95	12.3		0.55	7.1	
SECT 282.7	47.3	1.1	0.75	35.5	0.1	0.05	2.4	
SECT 290.2	7.5	0.6	0.85	6.4	1.4	0.75	5.6	
計	67.7		2.6	54.2		1.4	15.1	堰
SECT 297.3	0.0	2.0						
SECT 305.4	8.1	1.5	1.75	14.2		0.00	0.0	
SECT 336.5	31.1	1.2	1.35	42.0		0.00	0.0	
SECT 389.4	52.9	1.3	1.25	66.1	1.0	0.50	26.5	
SECT 431.8	42.4	2.0	1.65	70.0	1.0	1.00	42.4	
SECT 452.3	20.5	1.8	1.90	39.0	0.8	0.90	18.5	
SECT 488.0	35.7	3.8	2.80	100.0		0.40	14.3	
SECT 494.6	6.6	1.3	2.55	16.8	0.5	0.25	1.7	
計	197.3		13.3	348.1		3.1	103.4	堰
SECT 502.1	0.0	3.6			0.1			
SECT 510.2	8.1	2.5	3.05	24.7		0.05	0.4	
SECT 548.1	37.9	1.9	2.20	83.4		0.00	0.0	
計	46.0		5.3	108.1		0.1	0.4	堰
合 計	411.9			723.5			127.5	

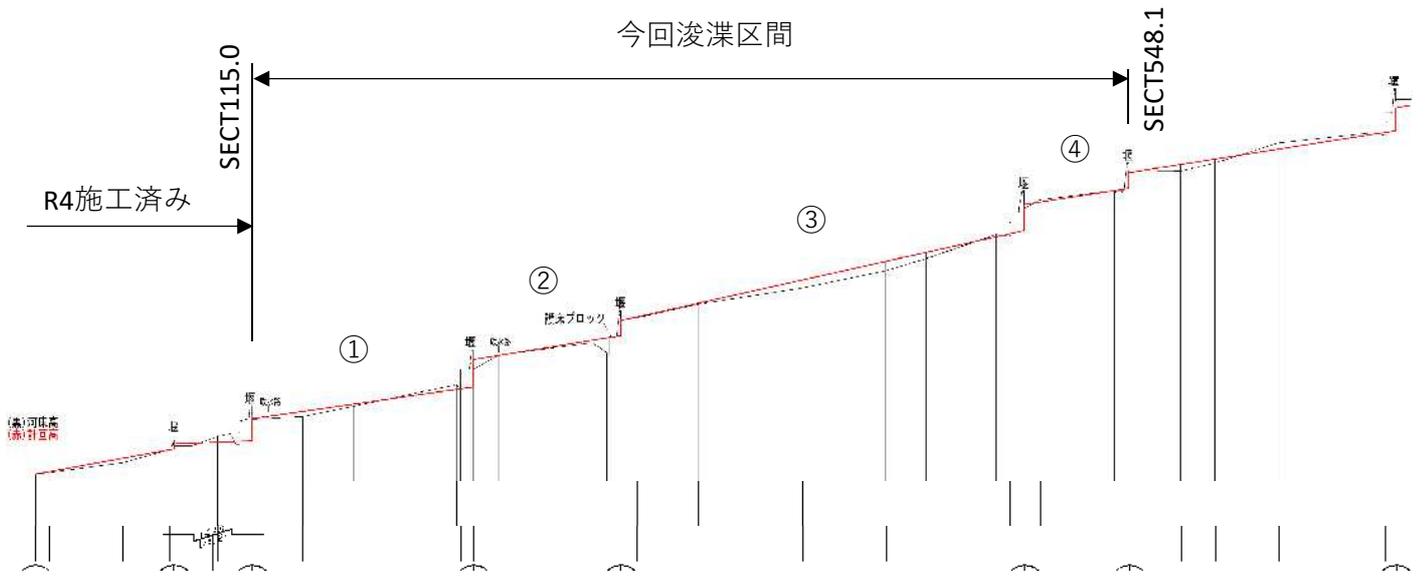
計 第 表 土 工							
測 点	距 離	掘 削				累加土量	備 考
		掘削	盛土	横方向	差引土量		
SECT 0.0	0.0	}					
SECT 6.9	6.9						
SECT 44.3	37.4						
SECT 68.1	23.8						
計	68.1						堰
			R4施工済み区間				
SECT 70.3	2.2	}					
SECT 79.3	9.0						
SECT 92.5	13.2						
SECT 103.1	10.6						
計	35.0						堰
SECT 115.0	0.0					0.0	
SECT 135.6	20.6	53.6	2.1	2.1	51.5	51.5	
SECT 161.7	26.1	45.7	3.9	3.9	41.8	93.3	
SECT 213.8	52.1	109.4	2.6	2.6	106.8	200.1	
SECT 215.9	2.1	4.4	0.0	0.0	4.4	204.5	
計	100.9	213.1	8.6	8.6	204.5	204.5	堰
SECT 222.5	6.6					204.5	
SECT 235.4	12.9	12.3	7.1	7.1	5.2	209.7	
SECT 282.7	47.3	35.5	2.4	2.4	33.1	242.8	
SECT 290.2	7.5	6.4	5.6	5.6	0.8	243.6	
計	74.3	54.2	15.1	15.1	39.1	243.6	堰
SECT 297.3	7.1					243.6	
SECT 305.4	8.1	14.2	0.0	0.0	14.2	257.8	
SECT 336.5	31.1	42.0	0.0	0.0	42.0	299.8	
SECT 389.4	52.9	66.1	26.5	26.5	39.6	339.4	
SECT 431.8	42.4	70.0	42.4	42.4	27.6	367.0	
SECT 452.3	20.5	39.0	18.5	18.5	20.5	387.5	
SECT 488.0	35.7	100.0	14.3	14.3	85.7	473.2	
SECT 494.6	6.6	16.8	1.7	1.7	15.1	488.3	
計	204.4	348.1	103.4	103.4	244.7	488.3	堰
SECT 502.1	7.5					488.3	
SECT 510.2	8.1	24.7	0.4	0.4	24.3	512.6	
SECT 548.1	37.9	83.4	0.0	0.0	83.4	596.0	
計	53.5	108.1	0.4	0.4	107.7	596.0	堰
合 計	433.1	723.5	127.5	127.5	596.0		

掘削補助機械搬入搬出

落差工間で浚渫作業を行う。

搬入・搬出回数

4回



位置図

